

津幡町で生きて逝くために

～一緒に考えまいか～

津幡町 医療介護フォーラム 特別編



津幡町

津幡町地域包括ケア推進協議会 医療介護連携部会

もくじ

はじめに.....	1
津幡町医療介護フォーラムのあゆみ.....	2
介護者の手記「おうちで介護」.....	8
津幡町地域包括ケア推進協議会	
医療介護連携部会 委員名簿.....	1 1

はじめに

『津幡町地域包括ケア推進協議会 医療介護連携部会』では、津幡町で働く医療・介護の代表者等が集まり、これまで「津幡町で、安心して、生きて、最期を迎えるために」というテーマを元に議論を交わし、その体制作りや発信を行ってきました。

その発信の場として、平成28年度から毎年『津幡町医療介護フォーラム』を開催してきました。しかしながら、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染状況がおさまらず、残念ながらフォーラム開催を見送ることになりました。

令和2年2月は、約240名の参加をいただき、「人生会議」「看取り」「エンディングノート」など、関心の高い内容だったことが伺えます。

今回、会場でのフォーラムを開催できない代わりに、これまでの活動の内容をまとめ、特に好評をいただいた第4回医療介護フォーラムの内容を中心に、冊子を作成いたしました。

人は、いつかは死を迎えてしまいます。ですから、その命を大切に、一生懸命生きて、自分の最期を、家族の最期をどのようにしてゆくか、この冊子を読んで、考えるきっかけにいただければと考えております。

このコロナ禍がおさまりましたら、「医療介護フォーラム 津幡町で生きて逝くために～一緒に考えまいか～」を再び発信させていただければと、考えております。

最後に、みずほ病院 越野先生の言葉をお借りして、「津幡町には、最期を相談すべき専門職がいるから心配するな、津幡町は安心や！」を胸に、再びフォーラムでお会いできる日を願っております。

津幡町地域包括ケア推進協議会 医療介護連携部会長
フロンティア津幡薬局 吉田 泉介

津幡町医療介護フォーラムのあゆみ

平成28年度 医療介護フォーラム

津幡町 第1回 医療介護フォーラム

日時 平成29年3月11日(土)
時間 午後1時30分~3時30分
場所 シグナス 3階 多目的室

テーマ「津幡町で生きて逝くために」
～一緒に考えまいか～

町長あいさつ
リレートーク (各分野から取り組み紹介)
コーディネーター 石川中央保健福祉センター 課長 寺西衣雄
①国や町の動向や現状 河北中央病院 院長 寺崎修一
②病院の立場から 河北中央病院 副院長 赤和彦
みずほ病院 理事長 越野慶隆
③施設の立場から 特別養護老人ホームふいらーじゅ 事務長 谷口利行
グループホーム愛の風 介護部長 松本邦子
④在宅の立場から きたうクリニック 院長 佐藤宗和
津幡訪問看護ステーション 管理室 山越重由美

終活について
みんなで
考えてみまいか。

共催：津幡町、津幡町在宅医療・介護連携推進協議会
後援：河北都市医師会、河北歯科医師会、石川県薬剤師会河北支部
石川県介護支援専門員協会河北支部
お問合せ先：津幡町地域包括支援センター ☎288-7952
※町民大学の対象講座です。

(参加者) 180名

(目的) 最期まで暮らせる地域づくりに向け、医療や介護に関する理解を深めることで、津幡町地域包括ケアシステムの構築を目指すことを目的に、医療介護フォーラムが開催されました。

(地域包括ケアシステムとは) たとえ病気になるっても、障がいをもって、介護が必要になっても、住み慣れた「津幡町」で、自分らしく暮らし続けるためには「予防・医療・介護・生活支援・住まい」が、地域の特徴に合わせて提供できる仕組みが必要になります。

少子高齢社会を迎え、働き手が減少し、要介護者が増えることを見据え、地域で支える「津幡町地域包括ケアシステム」を一緒に作っていきます。

平成29年度 医療介護フォーラム

(参加者) 120名

(参加者の感想)

・自宅で受ける医療、介護のサービスについて、具体的により深く理解をすることができた。またぜひこのような、フォーラムを行ってほしい。

・津幡にはたくさんのサービスがあるが、何回も聞かないと忘れてしまうので、必要なフォーラムだと思う。

・介護保険で利用できることと、医療保険でできることが途中で混ざりわかりづらかった。何をどう使えばよいのか分かりやすく示してもらった方がよい気がした。

・対象の介護度の変化に合わせた例題を挙げたりレートークが大変わかりやすかった。

平成29年度津幡町 医療介護フォーラム

津幡町で生きて逝くために～一緒に考えまいか～

日時 平成30年1月20日(土)
時間 午後1時30分~3時30分
場所 シグナス 3階 多目的室

入場 無料

みんなの力で
在宅介護を支えて
いきいきライフ!

1. 町の現状、施設など、社会資源について
河北中央病院 院長 寺崎修一氏

2. リレートーク ~仕事をしながらの介護を一緒に考えてみましょう~
・コーディネーター・・・石川中央保健福祉センター 課長 寺西衣雄氏

【各事業所の立場からの取り組み紹介】
・ケアプラン作成・・・津幡訪問看護ステーション(介護支援専門員)
・通所介護・・・デイサービスかえで(介護職員)
・訪問診療・・・きたうクリニック(内業町：医師)
・歯科訪問診療・・・石川県口腔保健医療センター(金沢市：医師)
・居宅療養管理指導・・・フロンティア薬局(薬剤師)
・訪問看護・・・みんなで笑顔木のおうち(看護師)
・訪問介護・・・JAほのほのヘルプ(介護職員)
・訪問リハビリ・・・老健ふいらーじゅ(リハビリ職員)
・短期入所・・・特養あがたの里(看護師)

共催：津幡町、津幡町地域包括ケア推進協議会
後援：河北都市医師会、河北歯科医師会、石川県薬剤師会河北支部
石川県介護支援専門員協会河北支部
お問合せ先：津幡町地域包括支援センター ☎288-7952

平成30年度 医療介護フォーラム

平成30年度 津幡町
医療介護フォーラム
津幡町で生きて逝くために～一緒に考えまいか～

日時 平成31年1月20日(日)
時間 午後1時30分～3時
場所 シグナス 3階 多目的室

1. 医療・介護の現状 河北中央病院 院長 寺崎 修一

2. リレートーク 「知ってお得!」医療と介護」

①医療保険ってどんなしくみ? 町医療保険担当職員
②介護保険ってどんなしくみ? 町介護保険担当職員
③薬局を上手く利用するには? フロンティア薬局 吉田 泉介

相談員の立場から・・・
◆みずほ病院 医療ソーシャルワーカー 園谷 準
◆津幡訪問看護ステーション 介護支援専門員 山越 亜由美

共催：津幡町、津幡町地域包括ケア推進協議会
後援：河北都市医師会、河北歯科医師会、石川県薬剤師会河北支部、石川県介護支援専門員協会河北支部
お問合せ先：津幡町地域包括支援センター ☎288-7952

(参加者) 100名

(参加者の感想)

- ・津幡町の現状、地域包括ケアシステムについてわかった。データがしっかりしていた。
- ・介護保険の申請方法がわかった。
- ・介護認定についてよくわかった。
- ・薬剤師が訪問してくれることを知ることができた。
- ・かかりつけ薬剤師のことを学べた。
- ・医療・介護保険のしくみが理解できた。
- ・津幡町の介護保険料が一番安いのはみんなが健康でがんばっているからであり、それを維持していきたい。
- ・病気になったことがないのでいろいろ勉強になった。

令和元年度 医療介護フォーラム

(参加者) 240名

(参加者の感想)

- ・人生会議という言葉は初めて聞いたが、家族との話し合いが大切であると感じた。今日のフォーラムの話を今後の生活に活かしていきたい。実際の現場からでは、実体験を踏まえた話を聞くことができ、とても参考になった。
- ・人生会議について少しでも家族へ伝えたい。
- ・最近話し合いをしておかねば”と思いつつ、一歩が進まなかったが、これを機会に子供たちには少しずつ話を持っていきたいと思う。

令和元年度 津幡町 医療介護フォーラム
津幡町で生きて逝くために～一緒に考えまいか～

入場無料

令和2年2月8日(土)
13:30～15:00
会場：津幡町文化会館 シグナス3階 多目的室

納得した最期の迎え方
～もしものために～

1. 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)ってなに? 河北中央病院 院長 寺崎 修一
2. 救急救命の立場から 津幡町消防本課 救急救急士 馬 隆
3. エンディングノートってなに? 津幡町地域包括支援センター 社会福祉士 亀本 美紀代
4. 実際の現場から 在地療養支援診療所 さとうクリニック 院長 佐藤 宏和
みんなて笑顔! 木のおうち訪問看護リハビリステーション 看護師 藤崎 享子
5. 納得しない最期を迎えないために みずほ病院 理事長 越野 麗穂

人生会議とは
人生の最期に受ける治療やケアについて最善を考へたり信託する人と
話し合うこと

エンディングノートとは
人生の最期に備えて
自分の意思などを
書き残すこと

主催 津幡町
主幹 津幡町地域包括ケア推進協議会 医療介護連携部会
後援 河北都市医師会、河北歯科医師会、石川県薬剤師会河北支部、石川県介護支援専門員協会河北支部
お問い合わせ先 津幡町地域包括支援センター
☎288-7952

第4回目の開催となる、令和元年度医療介護フォーラムは、令和2年2月8日シグナス3階の多目的室で行われました。

テーマは「納得した最期の迎え方 ～もしものために～」とし、約240名の参加がありました。



1. 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）ってなに？

河北中央病院 院長 寺崎 修一

人生の最終段階では70%の人が自分の意思表示が難しくなります。

本人や家族が納得して最期を迎えるためには、自分の最期の医療やケアについて意思表示をしておく必要があります。

ここでは、2種類の「人生会議」が言えます。

1つは健康なうちからの「人生会議」です。

健康なうちは、人生の最終段階のイメージがつきにくく、あいまいで、気持ちも変化します。ここでは、遠い未来に対する仮の選択をしておくことで、未来への備えになります。

2つ目は、病気になってからの「人生会議」です。

病気になってからの「人生会議」は、実際の医療・ケアをどのように受けたいかを医療や介護の従事者と共に具体的に話し合うため、現実の選択に近くなります。

「死」の訪れかたはいろいろです。突然死・がん・心臓肺疾患などの臓器不全・老衰・認知症など病気によって、本人の意思決定能力が確かな時期は変わります。

「人生会議」で注意すべきことは、本人・家族にとってつらい体験になる可能性があることを踏まえて、無理じいをしないことです。

「人生会議」とは、本人と家族と医療者の皆が考えられる最善を達成するための会議です。

「今は決めたくない」「考えたくない」人には無理じいをせず、自分の想いを大切な人に何度でも伝える機会です。



2. 救急救命の立場から

津幡町消防本部 救急救助係長 島 護

津幡町における救急搬送の実態として、
救急搬送の約6割は高齢者です。

また心肺停止の人に対して、約9割の方に
救命処置を実施しています。本人が心肺蘇生
法を望まない場合であっても、本人の意思が
書面として残っていない場合には、必ず心肺
蘇生法を実施しながら病院に搬送すること
になります。

津幡町では、町内の介護入所施設で救急要
請があった場合、迅速、確実な情報収集手段
として、救急隊引継ぎ用の傷病者情報用紙を
あらかじめ作成依頼しています。

一番下の欄には、救命処置を希望するかど
うか意思表示の欄を設けて、本人・家族の
希望を事前に記入しておくことができます。

紙面に残してあるものがすべてではありませんが緊急の場面でどのような選択
をするかということを考える機会になっています。

傷病者情報 (救急隊引継ぎ用)		見本
住所	津幡町字加賀爪へ109-1	
氏名	津幡 太郎 (ありがな つばた たろう)	
生年月日	M T W H 3年 9月 9日 (※ 90歳)	
※概要	救急要請した理由、断え、経過等 ・昨日から発熱 38.2℃ ・呼吸困難 ・意識レベルの低下	
アレルギー	☑ (アレルゲン カニ、エビ) 無	
既往歴	高血圧、脳梗塞	
内服薬	降圧剤、血栓抗凝固薬	
かかりつけ医	河北中央 病院 医院	
※発症 時刻	1日 AM PM 1時 19分頃	
※最終 飲食	1日 AM PM 11時 45分頃	
介護度	要介護3 要支援 ADL 左半身麻痺あり	
※家族 連絡	連絡済 連絡先 (親・兄・姉 090-728-3000)	
※バイタル	呼吸 30 体温 38.2℃ 脈拍 100 血圧 160/90 SpO2 90%	
※心臓 停止時の 対応	救命処置を 希望する 難取先 長女・津幡 町子 希望しない	

※印は救急要請時に記入し、それ以外は事前に記入をお願いします。 2019.1 津幡町消防本部 作成

3. エンディングノートってなに？

津幡町地域包括支援センター 社会福祉士 亀本 美紀代

健康なうちにできる「人生会議」の一つの
手段として、エンディングノートの活用が
あります。

エンディングノートとは、自分の死後、
または病気などで判断力を失うような状況に
なったときに備えて家族や友人に伝えたい
こと・遺したいものについて記入する
ものです。

法的な強制力は持ちませんので、
何度でも書き直すことができますので、
その時その時の自分の思いを伝える
ツールとして使うことができます。



4. 実際の現場から

在宅療養支援診療所 さとうクリニック 院長 佐藤 宏和

在宅医療は、本人が家に帰りたい・住み慣れた我が家で暮らしたいという思いと、家族がそばで寄り添ってあげたい・家族みんなで見送ってあげたいという気持ちがあり、それを支えるために整えられます。

より良い最期を迎えるために、病状についてしっかりと説明を聞き、理解し、受け入れることができているか確認していきます。延命・心肺蘇生などが必要な状態であるのか医療従事者や家族でしっかりと話し合いしていきます。

自宅で最期を迎えるために、自分の意思を明確に周囲に知らせておき、家族や地域の人たちが本人の意思を理解し尊重する力を持つことが大切です。また、周囲がそのような気持ちを持てるような医療・介護の体制を整えることを専門職も心がけています。

5. 実際の現場から ～本人と家族が満足された事例を通して～

みんなで笑顔「木のおうち」訪問看護リハビリステーション

看護師 藤崎 享子

事例：春子さん（79歳）の看取りを経験された当事者家族が登壇され、思いを語られました。

小腸末期がんの診断を受けた

春子さん本人の気持ちは

「じいちゃん（夫）と一緒にいたい。」

息子さん夫婦は

「じいちゃんとはあちゃんを離ればなれにしたくない」

お孫さんは「ばあちゃんが家にいるのは、あたり前」というそれぞれの思いがあり、自宅で最期を迎えました。

本人・家族の思いと、自宅で過ごすために必要な、医療や介護について紹介しました。



6. 納得しない最期を迎えないために みずほ病院 理事長 越野 慶隆

越野先生からの温かいメッセージ
でした。

家族の気持ちや考え方はあるが
大事なのは本人の気持ちだ。
最期を相談すべき専門職が
津幡町には、いるから。
そんなに心配するな。
津幡町では安心だ。

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

もしものときのために
「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

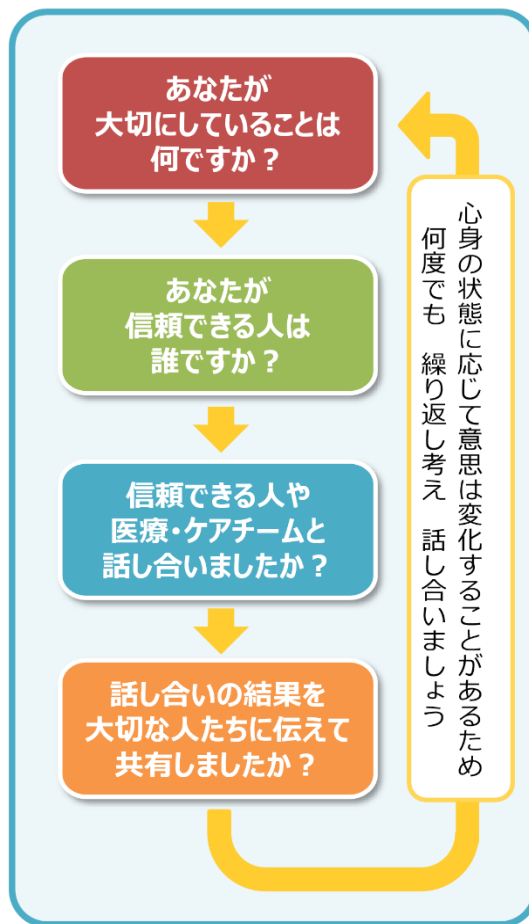
11月30日（いい看取り・看取られ）は人生会議の日

話し合いの進めかた（例）

誰でも、いつでも、
命に関わる大きな病気やケガをする
可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、
約70%の方が、
医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることが、
できなくなると言われています。

自らが希望する医療やケアを受けるために
大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むかを
自分自身で前もって考え、
周囲の信頼する人たちと話し合い、
共有することが重要です。



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を
「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」
と呼びます。

あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

このような取組は、個人の主体的な
行いによって考え、進めるものです。
知りたくない、考えたくない方への
十分な配慮が必要です。



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



介護者の手記

津幡町で、在宅の医療・介護を経験された山田さんの手記を紹介します。

コロナ渦で、病院で会えない中で最期を迎えるより、家に帰って孫の顔を見せてあげたい。という思いで、在宅で夫の介護を決意された山田さん。苦しいつらい時もあったけれど、在宅介護が家族にエネルギーを与えてくれた。そして、在宅でできる医療・介護をもっと知ってもらいたいと振り返っておられます。

『おうちで介護』

山田 喜久代（津幡町字横浜在住）

「お父さん、癒されにきたよ。」

長女の陽子が父親の耳元で大きな声で呼びかける。

目を開け娘の顔を見るが焦点の定まっていない美しい目、その目に薄っすらと涙が浮かぶ。陽子は愛おしそうに父親のひたいに手を当て「お父さん！」一時間余り車を走らせて父親の枕元にたどり着いた瞬間の会話。

「お母さん、今晚泊まるわ。お母さんゆっくり寝てね。」

時計は午後九時を回っている。

「ありがとう。安心して寝るわ。」

陽子は、医療・介護連携ノート^{※1}を見ながら

「お父さん、安定しているね。よかった。」
と、安堵した顔を私に向ける。

襖が空いて長男の啓一が入ってくるなり
父親のひたいを撫で

「お父さん、大丈夫か？」「うん、変わりないよ。」

「よかった！おれ、ヒゲそろうか？」

啓一は電気カミソリを手に父親の歯のない深く窪んだ
頬をなぞり、骨の出た顎を持ち上げて丁寧にそっていく。

温かいタオルを顔に当て

「お父さん、きれいになったよ。」手を握り

「俺、帰るわ、姉ちゃん頼むね。」

「気を付けて帰ってね。」

「お母さん、私、お父さんの側で寝るから。」

「じゃ今夜は任せる。」私は自分の部屋へ。

こんな日が何日続いたのだろうか。

また続くのだろうか。



※1 医療・介護連携ノート

このノートは、病院を受診するとき、介護サービスを利用するとき、情報の共有を目的として利用します。また、ご家族とサービス提供者との連絡帳としての役割もあります。

あの夜、ポータブルトイレでトイレをしていた夫、トイレに座って首を垂れ、両手をだらりとしている夫。「どうしたの！お父さん！お父さん！」肩をゆすっても反応がない。顔を持ち上げてもらい、死んでいる、救急車で医科大の救急センターに搬送されて心臓が動き、人工呼吸器をつけるなどして生命はとりとめたが、蘇生後脳症で植物状態に。

どんな状態であれ生きている。あったかいぬくもりの体に触れて生きている喜びと安堵に浸る私と孫たち。

「この状態で退院したら一週間も持ちませんよ。」

医師から言われたが私と陽子は「だれにも会わずに病院でしなせたくない。じいちゃんが命と思っている孫に会わせたい家に連れて帰ろう。一週間でも住みなれた大好きな家ならお父さんも後悔しないと思う。大変だけどみんなで看取ろう。」

子ども達の声に背中を押されて私も覚悟。

訪問看護、訪問診療を入れての在宅介護、子ども達協力するよと言いながらも、忙しい仕事をしている子ども達、老老介護のスタートです。

不安と責任感、心細さでおしつぶされそう。

でも、ここは開き直ってさあー頑張るぞ。

気管切開、CVポート^{*2}留置、在宅酸素の器械、吸痰器眠り続ける夫、枯れた一本の棒のようにベッドに仰臥している手も足、首も動かない姿（お父さん、神様から再びもらった尊い命、私たちにまだ何か伝えたいことがあるのね。子ども達も応援すると言うから頑張ろうね）夫に問いかけ私は夫の額に私の額をくっつける。

※2 CVポート

皮膚の上から専用の針を穿刺するだけで、確実に薬剤を静脈内に投与する事ができる器具のことです。

都合の悪いときや苦しいときに表す夫のみけんの三本の皺は、（頼むぞ）と言わんばかりに今は消えている。

56歳で胃がんの全摘手術、糖尿病の後遺症の足のしびれ、むくみ、歩行困難、誤えん性肺炎などで入退院を繰り返していた夫、訪問診療を依頼しようと主治医と相談しようとしていた矢先の出来事でした。

私も子ども達もそれぞれの思いを抱きながら、在宅での介護スタートです。

介護には思っていた以上の覚悟が必要でした。

今まで自由にボランティア、カルチャー、趣味の会合に、外に生き甲斐を求めて活動していたのに、自由に活動ができない苛立ち、気管切開の呼吸確認、時間ごとの吸痰など昼夜を問わない管理、確認が私に課せられました。

幸いと言うべきか、コロナでいろいろな会合や集まりなどが自粛されて、活動できないのが私の気持ちと行動にゆとりができ、介護に専念できます。

陽子が週2～3回泊まりに来てくれ、敬一、次男の孝士も昼休みや仕事を終えると、必ず顔を見せて、お父さんの病状の確認、私の体を心配して帰っていく。

子ども達がこんなにお父さんを大切に思っている、健康な時はよほど用事がないかぎり家に立ち寄りなかつた子ども達なのに、ありがとう、感謝です。

24時間の介護、時々、ため息を洩らし、頭をかきむしるくらいイライラするけど、あなたたちの愛するお父さん、3人の子どもや孫たち7人の大切なお父さん、お祖父ちゃん、その思いに背中を押されて、今日もお父さんの動かぬ手、足、顔をなでまわしています。

この頃は私の声に目を動かし、口をもごもごさせる夫、それだけのしぐさでも喜びを見出して、お父さんが（ありがとう、迷惑かけるな）と言っているよと解説する私に子ども達は苦笑い。

訪問診療の先生がリハビリを少し強化してリクライニングの車イスに乗れるようになろうねと、夢のまた夢の言葉にも奮起して見舞う子ども達や孫たちと手、足のマッサージ。

「じいちゃん頑張れ、じいちゃん頑張れ」幼い手と動かぬ手が絡む。

訪問看護師、訪問診療の先生の助けを借りながら、日に何回かの吸痰も上手になり、顔を見ての介護も慣れてきました。

可能性は零に近いとわかっていても奇跡を起こすかもしれないと介護の姿勢を持つことは、心にゆとりを与えてくれました。

私も子ども達も夢だとわかっていても、もしかしたらお父さんに奇跡が起こるかもしれないと小さな、小さな希望の光を求めて今日もお父さんの額に手を当て（お父さん）とつぶやいています。

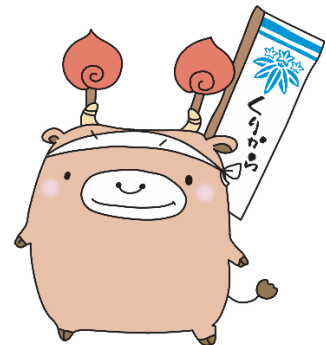
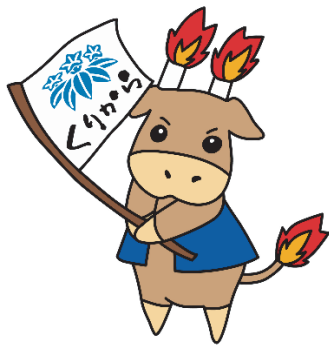


津幡町地域包括ケア推進協議会 医療介護連携部会 委員名簿

(順不同)

所 属	職 名	氏 名	任 期
みずほ病院	医 師	越 野 慶 隆	H28.4.1～
河北中央病院	医 師 医 師	寺 崎 修 一 湊 崎 宇 一 郎	H28.4.1～R2.3.31 R2.4.1～
在宅療養支援診療所 さとうクリニック	医 師	佐 藤 宏 和	H29.4.1～
すみよし歯科医院	歯 科 医	梶 善 博	H29.4.1～H30.3.31
中井歯科医院	歯 科 医	中 井 義 博	H30.4.1～
フロンティア津幡薬局	薬 剤 師	吉 田 泉 介	H28.4.1～
津幡訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所	介護支援専門員 介護支援専門員	山 越 亜 由 美 吉 田 み ち 代	H28.4.1～H31.3.31 H31.4.1～
みんなで笑顔「木のおうち」 訪問看護リハビリステーション	看 護 師	藤 崎 享 子	H31.4.1～
特別養護老人ホーム ふいらーじゅ	事 務 長 相 談 員 事 務 長	谷 口 利 行 大 友 一 弘 増 井 伸 吉	H29.4.1～H31.3.31 H29.4.1～R1.12.31 R2.4.1～
特別養護老人ホーム あがたの里	看 護 師	藤 本 欽 也	H29.4.1～
小規模多機能型サービス 愛の風	管 理 者	松 本 邦 子	H28.4.1～H31.3.31
石川中央保健福祉センター	課 長 担 当 課 長	寺 西 衣 姫 中 村 礼 子	H28.4.1～H30.3.31 H30.4.1～
津幡町消防本部	救 急 救 助 係 長	島 護	R1.10.21～
町民生活部町民課 医療保険係	係 長 係 長	細 川 大 輔 中 島 博 美	H31.4.1～R2.3.31 R2.4.1～
健康福祉部福祉課 介護保険係	主 事	池 一 恭	H31.4.1～

事務局 津幡町健康福祉部福祉課 地域包括支援センター



津幡町公式ホームページにも掲載しています。

津幡町で生きて逝くために ～一緒に考えまいか～

津幡町 医療介護フォーラム 特別編

発行 令和3年3月

発行者 津幡町

津幡町地域包括ケア推進協議会 医療介護連携部会